

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

作成日：2023年2月15日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	スポーツ・エンターテインメントビジネス		
講師幹事名	壁谷 周介	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子
学期	2023年(春夏)・秋冬	開講時間	水曜 4～5時限

【授業の目的・到達目標】

今後の日本の成長産業であるスポーツビジネス。政府が2016にまとめた「日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて」の中で、名目GDP600兆円に向けた「官民戦略プロジェクト10」が掲げられました。その10プロジェクトの一つとして、「スポーツの成長産業化」が盛り込まれ、スポーツの市場規模を2015年の5.5兆円から2025年までに15兆円に拡大するとの目標が掲げられています。また、具体的施策として、次の3つの方向性が示されています。

- ① スタジアム・アリーナ改革（コストセンターからプロフィットセンターへ）
- ② スポーツコンテンツホルダーの経営力強化、新ビジネス創出の促進
- ③ スポーツ分野の産業競争力強化

この具体的施策の中心をプロスポーツビジネスが担っており、その中心にコンテンツホルダーがあり、それを支える周辺ビジネスが存在しています。

一方、エンターテインメントビジネスという切り口で考えると、映画、音楽、アミューズメントパーク、スポーツなど様々なジャンルがありますが、プロスポーツビジネスは音楽ビジネスと並んでライブエンタテインメントの代表的なビジネスの一つで、「好きなことを仕事にできる幸せ」を実感しやすい魅力的な職業です。このプロスポーツビジネスを含むスポーツビジネスのビジネス構造の基本的理解、スポーツビジネスに関わる様々なプレーヤーの理解、を通してスポーツビジネス、ライブエンタテインメントビジネスの魅力を感じてもらいたいと思います。

そして、他業界・他大学と比べると一橋卒業生の活躍が少ないスポーツビジネスを、一橋大学の学生がキャリアの選択肢として検討する一助となることを狙っています。

また、ソーシャルデータサイエンス学部を新設する一橋大学とスポーツビジネスの親和性は今後、益々、高まっていく環境にあります。スポーツビジネスにフィットする一橋の優秀な学生をスポーツビジネスに輩出していく一助を担いたいと思っています。

【上記目的・目標達成方法】

- ・ スポーツビジネスで異なる業務領域で知見・経験のある講師を招聘し、前提となる知識の提供を行います
- ・ 一橋ゼミの特性を活かし、講師がファシリテーターとなり、ディスカッション中心の講義を実施します
- ・ 講義の中にワークも取り入れて、ゼミ生の考える力を養えるようにします
- ・ ゼミの最終アウトプットに向けたグループワーク、グループプレゼンテーションを行うことで、ゼミ生同士のチームビルディング、チームで協働する力も養ってまいります

【授業の内容と計画】

月日	講師名	卒年・学部・ゼミ・部活	社名・役職 (※役職は作成日現在)	講義内容
第1回 2023年 4月19日 @一橋	壁谷周介	平.14 商学部 楠木ゼミ	株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 執行役員チーム統括本部副本部長 ソニー入社後、本社経営企画、事業部の経営企画管理業務を経験。ポストン コンサルティンググループを経て、2012年、横浜 DeNA ベイスターズ入社。社長室長兼地域貢献室長、チーム企画室長、ファーム・育成部長、チーム戦略部長を歴任後、現在は副本部長として育	ゼミ全体の説明 ・ グループワークのテーマ、最終プレゼンテーションの説明 ・ ゼミ生のチームビルディング ・ スポーツビジネスの構造

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

			成戦略、DX 戦略、国際戦略を担う。	
第 2 回 2023 年 5 月 10 日 @一橋	菅野功司	平.15 商学部 松井ゼミ ラグビー部	株式会社電通 第 2 ビジネスプロデュース局 アカウントリード 2 部 シニア・アカウントリード 電通入社後、テレビ局担当、営業を歴任。2016 より約 6 年、味の素に出向しスポーツ×食のス ポーツマーケティングを経験。リオ、平昌、東 京の 3 つのオリンピックにおけるスポンサー マーケティングも経験	スポーツマーケティング① ・ 食品メーカーのスポーツ支援を通じた企業 ブランド価値向上の在り方 講師のキャリア選択について
第 3 回 2023 年 5 月 24 日 @博報堂 (赤坂)	木下陽介	平.13 商学部 伊藤邦ゼミ サッカー同好会	株式会社博報堂 DX ソリューションデザイン 局長代理 主席研究員 兼博報堂 DY ホールディングス マーケティ ングテクノロジーセンター 室長代理 兼兼データスタジアム株式会社 取締役 Jリーグ全体やコンサドーレ札幌のマーケティ ングに従事。また、スポーツデータ会社のデー タスタジアムの取締役も兼務	スポーツマーケティング② ・ データサイエンスとスポーツ。Jリーグ、J リーグクラブの事例より 講師のキャリア選択について
第 4 回 2023 年 5 月 31 日 @一橋	古川真弥	平.12 社会学部 糟屋ゼミ 中島ゼミ	株式会社日刊スポーツ新聞社 コンテンツ本部 野球部 侍 JAPAN 担当 外務省でセルビア・モンテネグロ、クロアチア への赴任を経験。2016 年より現職。アマチュ ア、プロ野球各球団担当(横浜、巨人、楽天、 ロッテ、西武)、侍ジャパン担当を歴任	メディアから見たスポーツ ・ 侍 JAPAN とプロ野球取材の現場 ・ スポーツ紙の現状と未来 講師のキャリア選択について
	中野慧	平.16 社会学部 渡辺治ゼミ	フリー編集者、ライター 在学中から、カルチャー誌「PLANETS」編集部 でメディア制作に携わる。Web 制作会社 LIG で 広報・オウンドメディア編集長を務めた後、独 立。現在は書籍編集の他、雑誌・Web メディア で執筆。「ターザン」でフィットネス関連の記事 制作、光文社新書 note では野球文化論を連載 中	スポーツビジネスの社会的位置付け ・ スポーツ SF プロタイピング ・ スポーツに関する思い込みを外すための ワーク 講師のキャリア選択について
第 5 回 2023 年 6 月 14 日 @日本橋	東海林一	昭.63 経済学部 石ゼミ ラグビー部	一般社団法人ジャパンラグビーリーグワン 専務理事 ポストン コンサルティング グループ シニア・アドバイザー 株式会社日本興業銀行(現みずほ銀行)、ポスト ン・コンサルティング・グループ、を経て現 職。2015 年～19 年にラグビーワールドカップ 2019 組織委員会をプロボノとして支援	新プロリーグの立ち上げ ・ ジャパンラグビーリーグワンのビジョンとビ ジネス構造 講師のキャリア選択について
第 6 回 2023 年 6 月 21 日 @一橋ま たは品川	小松士恩	平.13 商学部 阿久津ゼミ 社会学部 野崎・武村ゼミ	国際東宝株式会社 東京支店コンテンツ戦略グループ 外資系 IT 企業に入社後、プロダクトマーケティ ングを経験。2005 年より松竹(株)にて映画と アニメの海外営業に従事。2022 年より東宝 (株)のグループ会社である国際東宝(株)に入 社	スポーツ以外のエンターテインメントコンテンツホ ルダーのビジネスを学ぶ ・ 映画・アニメビジネス ・ 日本のエンタメコンテンツのグローバル化 講師のキャリア選択について

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

	山本太郎	1991 Muhlenberg College 卒 Business Management 専攻	ソニー株式会社 サービスビジネスグループ 部長。兼ホークアイ・アジアパシフィック VP ソニー入社後、シンガポール、アメリカ、イギリス、インドの販売会社・地域拠点に通算約18年駐在し、セールスマーケティング及び新規事業立ち上げ業務に従事。2016年に帰国と同時にソニーのスポーツ事業に従事。現在は審判判定サポートやトラッキングサービスを提供するホークアイ事業のグローバル展開、特にアジア・パシフィック地域のビジネスデベロップメントを統括	ソニーのスポーツビジネス ・テクノロジーとスポーツ
第7回 2023年 7月5日 @関内	壁谷周介	平.14 商学部 楠木ゼミ	株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 執行役員チーム統括本部副本部長	プロスポーツの興行を社会見学(予定) ・横浜スタジアムでの横浜 DeNA ベイスターズの公式戦(vs ヤクルト)の試合興行見学 ・受講生は要チケット購入のため任意参加
第8回 2023年 7月12日 @一橋	壁谷周介	平.14 商学部 楠木ゼミ	株式会社横浜 DeNA ベイスターズ 執行役員チーム統括本部副本部長	グループワークの最終プレゼンテーション 初回講義で説明するテーマから選択し下記の骨子に沿ってグループワーク ・論点設定 ・仮説構築 ・リサーチ/仮説検証 ・資料作成 ・プレゼンテーション

【テキスト・参考文献】

・ベイスターズ再建録 (二宮寿朗、双葉社)

【受講生に対するメッセージ、希望】

スポーツ・エンターテイメントビジネスを学んでいただきながら、各回の講義、グループワークを通じて、論点思考、仮説思考、問題発見・問題解決、プレゼンテーション、などのエッセンスも学んで頂ければと思っています

本ゼミは最終プレゼンテーションに向けて授業外でもワークの時間が必要です
ゼミの開催場所はなるべく対面を予定しておりますが、状況を鑑みて、都度判断いたします。
また、対面での開催場所は学外も含めて、都度、変更の可能性ががあります。